

報道関係者各位

(照会先)
全国健康保険協会
船員保険部 永井、藤井
電話：03 - 6862 - 3061

令和6年7月 22 日

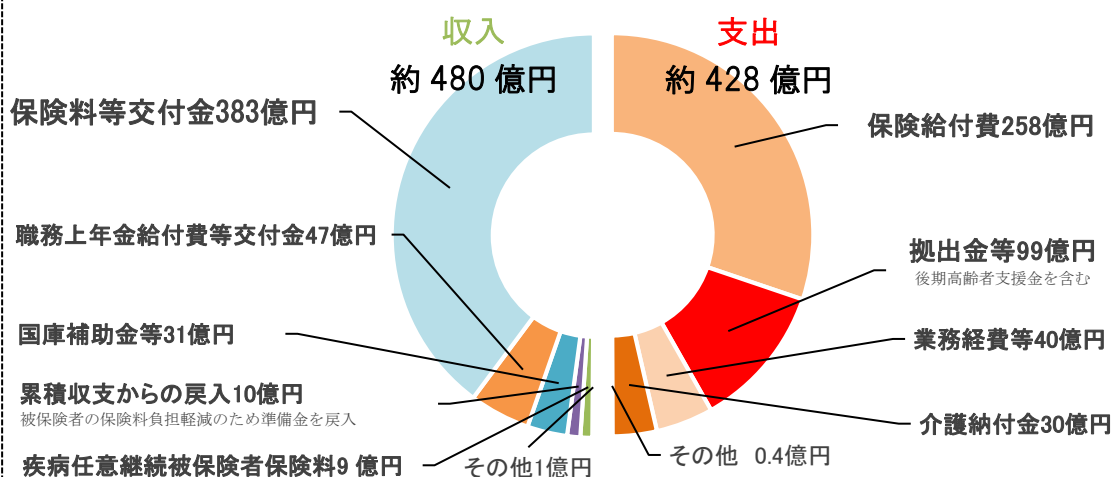
船員保険の 2023(令和5)年度決算について

全国健康保険協会(以下、「協会」という。)の船員保険勘定における 2023 年度決算報告書(船員保険の決算)については、本日 15 時開催の第 64 回船員保険協議会においても公表しましたが、その概要についてお知らせいたします。(「決算報告書」については、別紙1)

《協会の船員保険勘定における 2023 年度決算のポイント》

- 2023 年度の収入は約 480 億円、支出は約 428 億円で、収支差(黒字)は約 53 億円となりました。
- 制度改正により、船員保険が国から協会に移管された 2010 年1月以降、15 年連続で黒字であり、安定的に運営できています。
- 一方、中長期的な視点で今後を見据えると、団塊の世代が後期高齢者になることに伴う後期高齢者支援金の増加、医療の高度化或いは船員やそのご家族の高齢化に伴う医療費の増加が見込まれること等に加え、海運業や漁業における船員不足等の課題も重なり、協会は、船員保険の保険者として慎重な財政運営を図りつつ、医療費の抑制を図るための各種施策を確実に推進していく必要があると考えています。
- なお、当該決算については、7月 22 日の船員保険協議会でご意見を聴いた上で、7月 25 日の運営委員会の議を経たのち、厚生労働大臣に承認をいただく予定です。

【船員保険の財政構造】



(注) 協会の船員保険勘定における 2023 年度決算の概要は上記のとおりですが、国の特別会計の収支を含めた「協会会計と国の特別会計の合算ベース」の決算(見込み)については、疾病部門、災害保健福祉部門、介護保険部門、職務上年金給付費等部門に区分して管理しており、疾病部門については別紙2、災害保健福祉部門については別紙3になります。なお、「協会の船員保険勘定における決算」と「合算ベースの決算(見込み)」の関係については、別紙4を参考にしてください。